

令和2年度 日本語教育能力検定試験 試験 I 正答一覧

大問	小問	正答
問題1	(1)	1
	(2)	2
	(3)	5
	(4)	3
	(5)	2
	(6)	5
	(7)	1
	(8)	4
	(9)	2
	(10)	4
	(11)	5
	(12)	1
	(13)	3
	(14)	5
	(15)	3
問題2	(1)	4
	(2)	2
	(3)	1
	(4)	3
	(5)	4
問題3A	(1)	3
	(2)	1
	(3)	4
	(4)	4
	(5)	2
問題3B	(6)	2
	(7)	4
	(8)	2
	(9)	4
	(10)	3
問題3C	(11)	1
	(12)	4
	(13)	3
	(14)	2
	(15)	4
問題3D	(16)	2
	(17)	4
	(18)	1
	(19)	2
	(20)	3
問題4	問1	3
	問2	1
	問3	1
	問4	2
	問5	1
問題5	問1	1
	問2	2
	問3	3
	問4	2
	問5	4
問題6	問1	4
	問2	2
	問3	4
	問4	3
	問5	3

大問	小問	正答
問題7	問1	4
	問2	3
	問3	2
	問4	4
	問5	1
問題8	問1	3
	問2	1
	問3	1
	問4	3
	問5	4
問題9	問1	4
	問2	2
	問3	1
	問4	4
	問5	1
問題10	問1	3
	問2	4
	問3	2
	問4	1
	問5	3
問題11	問1	3
	問2	2
	問3	2
	問4	1
	問5	3
問題12	問1	4
	問2	3
	問3	1
	問4	3
	問5	1
問題13	問1	2
	問2	1
	問3	4
	問4	3
	問5	2
問題14	問1	1
	問2	2
	問3	2
	問4	3
	問5	4
問題15	問1	3
	問2	1
	問3	4
	問4	1
	問5	2

令和2年度 日本語教育能力検定試験 試験Ⅱ 正答一覧

大問		小問	正答
問題1		(1)	d
		(2)	a
		(3)	c
		(4)	d
		(5)	a
		(6)	b
問題2		(1)	b
		(2)	d
		(3)	a
		(4)	b
		(5)	c
		(6)	d
問題3		(1)	a
		(2)	d
		(3)	c
		(4)	c
		(5)	a
		(6)	d
		(7)	b
		(8)	b
問題4	1番	問1	d
		問2	c
	2番	問1	a
		問2	c
	3番	問1	b
		問2	a
問題5	1番	問1	c
		問2	a
	2番	問1	b
		問2	d
	3番	問1	c
		問2	b
問題6		(1)	b
		(2)	c
		(3)	c
		(4)	a
		(5)	d
		(6)	b
		(7)	d
		(8)	a

令和2年度 日本語教育能力検定試験 試験Ⅲ 正答一覧

大問	小問	正答
問題1	問1	4
	問2	3
	問3	2
	問4	1
	問5	2
問題2	問1	1
	問2	2
	問3	2
	問4	3
	問5	4
問題3	問1	2
	問2	4
	問3	4
	問4	2
	問5	1
問題4	問1	3
	問2	2
	問3	4
	問4	2
	問5	1
問題5	問1	4
	問2	1
	問3	2
	問4	4
	問5	3
問題6	問1	1
	問2	3
	問3	4
	問4	3
	問5	1
問題7	問1	4
	問2	3
	問3	4
	問4	1
	問5	2
問題8	問1	4
	問2	2
	問3	1
	問4	1
	問5	2
問題9	問1	3
	問2	4
	問3	2
	問4	3
	問5	1
問題10	問1	3
	問2	4
	問3	1
	問4	3
	問5	2

大問	小問	正答
問題11	問1	2
	問2	1
	問3	3
	問4	2
	問5	1
問題12	問1	1
	問2	2
	問3	3
	問4	3
	問5	4
問題13	問1	3
	問2	1
	問3	1
	問4	4
	問5	3
問題14	問1	4
	問2	4
	問3	3
	問4	2
	問5	1
問題15	問1	2
	問2	3
	問3	2
	問4	4
	問5	4
問題16	問1	1
	問2	3
	問3	4
	問4	1
	問5	3

## 問題 17 記述式問題解答例

「やさしい日本語」に対し外国人が、あたかも馬鹿にされているような印象を持ってしまう可能性があることは理解できる。母語話者同然の能力習得を望む学習者に対し「やさしい日本語」で十分、と言うことは、「使いたい言語が使える」という言語権の侵害にもつながりかねない。また、外国人の言語権を保障するなら、「やさしい日本語」より母語でのサービスを充実させるべき、という考え方もある。

しかし、外国人も極めて多様であることに配慮しなければならない。日本語学習のみに専念できない学習者も多く、また日本で暮らす外国人の母語全てによってサービスを行うことは不可能、という事情もある。特定の外国人集団や一定のレベルに達した学習者のみを優先することなく、平等迅速な情報伝達を行うために「やさしい日本語」は最善の手段である。我々は理想のみを追うのではなく、できるだけ多くの人が幸福になるため何が必要かを考えなければならない。(396 文字)